

平成 17 年 2 月 2 日

千葉大学

## 国内学会等刊行誌掲載論文の著作権調査について（報告）

今後機関リポジトリ構築を推進する上では、学術雑誌掲載論文の登録促進によって質・量の充実を図る必要があり、そのためには各学会・出版社の著作権方針の把握が不可欠である。

欧米の主要学会、出版者等については、すでに英国の調査機関（Project RoMEO）によって著作権方針の本格的調査が行われ、その結果がインターネット上で公表されているが、国内についてはいまだ本格的な調査が行われていないのが現状である。

このため、千葉大学附属図書館は、下記の要領で国内学会等（39 団体）を対象に予備的なアンケート調査を実施した。以下、概要を報告する。

### 記

#### 1. 調査対象

国内の 39 団体

選定にあたっては、規模の大小や分野に偏りがないよう留意した。

また、SPARC/JAPAN 参画、電子ジャーナル公開、それらのいずれも実施していない団体、からまんべんなく選定した。

#### 2. 実施時期

平成 17 年 1 月 14 日にメールでアンケート発送。

同 1 月 24 日に回答を締切った。

#### 3. 回答率

62%（回答 24 未回答 15）

#### 4. 回答の概要

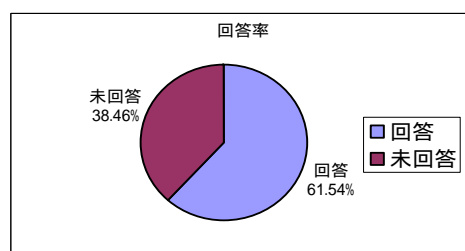
- ・著作権の全体を学会が保有するケースが 7 割弱である。
- ・著作者本人による掲載論文の Web 公開の認否については、意見が分かれる。方針が定まっていないケースが多い。
- ・著作権方針の調査とその結果を公開することについては 7 割弱が賛同している。

質問項目と集計結果については別紙(集計表)参照。

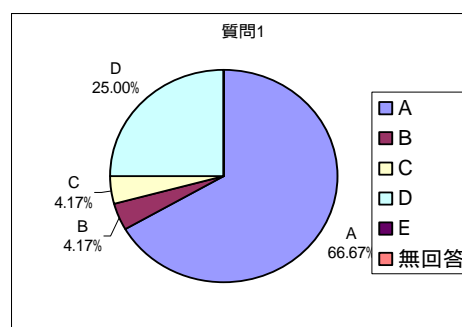
以 上

【回答内訳】

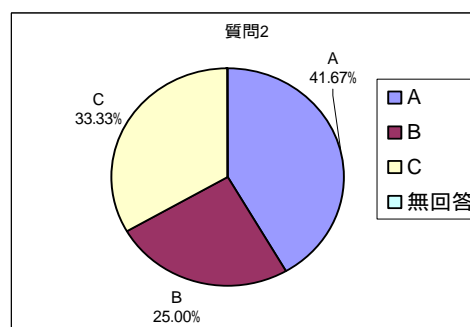
	機関数
発送総数	39
回答	24
未回答	15
回答率	61.54%



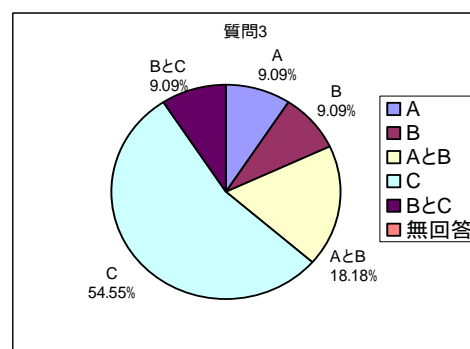
【質問1】 貴学会(団体)刊行誌の掲載論文について、著作権の保有者を教えてください。		質問1	
		回答数	%
A	全体を学会(団体)が保有する	16	66.67
B	特定の権利のみを学会(団体)が保有する	1	4.17
C	全体を著作者(著者)が保有する	1	4.17
D	その他	6	25.00
E	不明		
無回答		0	0.00



【質問2】 貴学会(団体)の刊行誌に掲載された論文の電子ファイルを著作者本人がインターネットを通じて公開することを認めていますか。		質問2	
		回答数	%
A	認める	10	41.67
B	認めない	6	25.00
C	その他	8	33.33
無回答		0	0.00



【質問3】 (質問2にAと回答した場合のみご記入ください) どのような場所から公開することを認めていますか。		質問3	
		回答数	%
A	著作者個人のWebサイト	1	9.09
B	著作者が属する機関等のWebサイト(機関リポジトリも含む)	1	9.09
AとB		2	18.18
C	その他	6	54.55
BとC		1	9.09
無回答		0	0.00



【質問4】 海外では、学会や出版社の著作権方針と著者自身による機関リポジトリへの登録(セルフ・アーカイビング)の可否に関する調査が行われ、その結果が公表されています。国内でも同様の本格的な調査を実施し、その結果を公表することに関してどのようにお考えですか。		質問4	
		回答数	%
A	実施すべきである	16	66.67
B	実施すべきではない	2	8.33
C	その他	5	20.83
無回答		1	4.17

